



鳴振収第10-21号  
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

鳴沢村長 小林 優



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（提出）

平成20年9月19日付け、国道企第37号で依頼のありましたことにつきまして、別紙のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式①

山梨県鳴沢村

国、地方を通じて財政状況が厳しく日本の将来人口の減少、少子高齢化が進むなか、福祉、医療費などの公共サービスの増加、また現役世代の負担増を踏まえ、歳出の抑制は必要なことである。しかしながら、道路整備が遅れている地方においては、道路整備は、地域の活性化、存続を図り、更には緊急医療など住民生活に密接に関わる第一義に実施すべき重要項目であります。今回閣議決定された道路特定財源等に関する基本方針で示された、地方で真に必要とされる道路は着実に整備することを厳守し、最新の需要数値を基礎に透明性、公平性を図りながら優先順位を付け計画の推進をを要望する。その際、通行台数、地域状況を考慮し、地方と都市との数値の違いを認識し画一的でない道路整備の推進が必要。

また、地方分権の主旨からも地方の実情にあわせ地方道路整備臨時交付金制度の維持拡充、あるいは同等以上の代替制度の確立が必要。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式②

山梨県鳴沢村

○現状

国道139号線は、地域住民にとって生活道路として、通勤、通学、食料品の購入などで利用しているが、平日の朝夕の通勤時の渋滞、夏の観光シーズンのみならず、イベント、新規観光施設のオープン等により年間を通じての週末、連休時の観光客流入による渋滞が慢性化している。

鳴沢村の基幹産業であった農業は、農業従事者の高齢化、担い手不足により将来村の主要産業として位置づけることは難しく、今後村民の所得向上を図り税収の増加による財政基盤を強化するためには富士五湖の中心に位置しする立地条件、富士山を含む未開発な観光資源を活用した観光業の育成、少子高齢化が進むなか企業誘致による若年層の定住化を図り、人口の増加を進める。

今後発生が見込まれる東海地震の地域防災強化地域(想定震度6弱以上)に指定され当村の被害は、揺れによる全壊棟数139棟、半壊棟数553棟、死亡者8名が想定されています。また、富士山噴火の第3次避難地域(溶岩が流れ続けた場合に1日ぐらいで到達すると考えられる地域)に指定されているため、甲府盆地への避難道路の確保。

○課題

国道139号線の4車線化  
右折レーン設置等による地域住民にとっての渋滞緩和対策  
通学路の歩道整備

静岡県中部地域、甲府盆地へアクセスする広域ネットワーク道路の整備

若彦路を利用した新規防災道路の建設

## 今後の道路行政についての意見・提案

### ②-2 地域の目指すべき将来像

様式③

山梨県鳴沢村

鳴沢村は、富士山とその広大な裾野を持ち、豊かな自然があります。この魅力を最大限に活かしつつ、住民の快適な居住環境を創造することを基本的な方向性と定め、子どもからお年寄りまで安全に安心して暮らせることができ若い力のあふれる賑わいのある村を、目指し、心地よく健やかに暮らせる村づくりを進める。また、村づくりでは「住民を主役」と位置づけ、住民個人が主体的に取り組む「自助」という考え方、行政等の公的機関が主体的に取り組む「公助」という考え方、地域住民がお互い助け合って取り組む「共助」という考え方に則り、役割分担を明確化し、村の将来像を実現するための目標及び施策を達成する。住民一人ひとりが村の将来を考え、将来像の実現に向けて実行すること、そして、住民が村に住んでいることを誇りに思えるよう「心地よく健やかに暮らせるために みんなでつくる鳴沢村」を将来像として定める。

#### 生活環境分野 身近な自然を守り安心安全に暮らせる村づくり

村には、豊かな自然が身近にあふれています。自然の豊かさ、あつて当たり前のものではなく、かけがえのない価値のあるものです。自然を守る気持ちを大切にし、日々の生活を安全に過ごすことのできる村づくりを目指します。

☆自然環境の保全 ☆景観整備 ☆計画的な土地利用 ☆居住空間の整備 ☆公園整備 ☆水道水の安定供給  
☆生活排水処理対策 ☆ごみ処理対策 ☆環境衛生 ☆防災・危機管理体制の整備 ☆消防・救急体制の整備  
☆交通安全の推進 ☆犯罪の防止 ☆消費者支援

#### 産業分野 鳴沢村らしさが光るにぎわいのある村づくり

村にしかないものや、独自性を最大限に活かすために、それぞれの産業を融合させたにぎわいのある村づくりを推進します。また、住民が村を誇りに思うよう、村らしい特産品の開発や、観光農業の推進、雇用を促進するための企業誘致に関する取り組み、道の駅をはじめとした村内観光施設の活性化等、にぎわいのある村となるような取り組みを推進します。

☆農業の振興 ☆林業の振興 ☆工業の振興 ☆商業の振興 ☆観光業の振興 ☆就業機会・勤労者福祉の充実

#### 福祉保健分野 子どもからお年寄りまでみんなが生きいきと笑顔で暮らせる村づくり

村では、高齢者に対して健康に暮らせるよう、様々な施策を展開しており、今後、村づくりの中心となる子どもたちに対する福祉も推進します。また、住民自身が健康管理し、健康に対する意識が高い村となるように、各世代に合わせた生活しやすい村づくりを目指します。

☆健康づくり ☆医療サービスの充実 ☆地域福祉の推進 ☆国民健康保健・介護保険制度の充実 ☆老人保健制度  
☆国民年金制度の充実 ☆生活の安定 ☆子育て支援 ☆高齢者福祉の推進 ☆障害福祉の推進

#### 教育分野 自ら学び自ら参加する鳴沢文化が息づく村づくり

村の豊かな自然風土や住民の親しみやすい穏やかな気質は、村の誇れる文化であるといえます。これらの文化を伝承し、次世代につげる地域の文化に根付いた教育を積極的に取り入れ、住民が主体的に学び参加する村づくりを推進します。

☆学校教育の充実 ☆青少年の健全育成 ☆文化活動の推進 ☆文化財の保護と活用 ☆生涯学習の推進  
☆スポーツ・レクリエーションの推進

## 今後の道路行政についての意見・提案

### ②-2 地域の目指すべき将来像

様式③

山梨県鳴沢村

#### 住民参画分野 みんなが語り合い参加する村づくり

村では、隣近所との助け合いは日常的にできている土台があります。しかし、村づくりに住民が参加する機会が少ない現状を踏まえ、村づくりを進める上では、住民が意見を言える、語り合える環境づくりが必要です。意見を語り合い、お互いの考え方を共有するところから始め、住民一人ひとりが、村づくりの主役であるという意識を醸成し、計画推進の検討や村づくりを住民自身が行えるような協働の体制づくりを推進します。

☆住民参加の推進 ☆男女共同参画の推進

#### 行財政分野 計画性のある行財政運営

行政情報を積極的に住民に開示し、住民の意見を反映させるとともに、事前に役場内で十分に検討を行った上で計画立案を行い、計画に沿った行財政運営を基本とします。

☆効率的な行政運営の推進 ☆財政運営の確立 ☆広域連携の推進

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式④

山梨県鳴沢村

| ○重点事項              | ○代表事例                                                                                                  | ○期待する効果や評価等                                                                                                                                                                                     | ○その他 |
|--------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| <p>渋滞対策と交通安全対策</p> | <p>国道139号線から村落に進入する場合、渋滞時右折レーン等が無い場合、後続車の渋滞が発生する。このため、村落に入る主要交差点の改良及び大型車輛の通行台数が多い場合、歩道未設置箇所への歩道新設。</p> | <p>生活道路として利用している地域住民の利便性向上、救急搬送の確保と国道本線の渋滞緩和、ドライバーの安全確保が図られる。また、現在未設置区間の歩道を設置し既設の歩道と継ぎ合わせることで鳴沢小学校の通学路の指定及び歩行者の安全が確保される。</p>                                                                    |      |
| <p>地域活力の向上</p>     | <p>国道139号線の四車線化</p>                                                                                    | <p>○天神山入口交差点(国道139号)<br/>○山道交差点(国道139号)<br/>○境野交差点(国道139号)<br/>○前原交差点(国道139号)</p>                                                                                                               |      |
|                    | <p>中央高速河口湖線と中部横断自動車道を結ぶ高規格道路(仮称 西富士五湖道路)の建設とインターチェンジの設置</p>                                            | <p>鳴沢村の基幹産業であった農業は、農業従事者の高齢化、担い手不足により将来村の主要産業として位置づけることは難しく、今後村民の所得向上を図り税収の増加による財政基盤を強化するために富士五湖の中心に位置する立地条件を生かし、富士山を含む未開発な観光資源を活用した観光施策を展開し、地域の魅力度を向上し、企業誘致にも資する。さらに若年の定住化につなげる取り組みが展開できる。</p> |      |
| <p>防災対策</p>        | <p>災害時の国中方面への避難道路として足和田山へのトンネル開設と県道若彦路線への接続</p>                                                        | <p>富士山噴火・東海地震の被害に備えた避難ルートの拡充ができ、地域の安全が向上する。</p>                                                                                                                                                 |      |